

新潟県

平成3年

公民館月報

5月
第459号

シリーズ 県外の公民館に学ぶ (1)

蕪崎市の生涯学習の推進と公民館



鬼太鼓の

ひと時憩ふ

花の下

(畑野 中川 湖 舟)

佐渡のオンデラは早い所では四月三日から始まるメインは四月十五日島内各宮宮ごとに行なわれる神事です。

宮により色々舞い方は異なるが、各戸を廻り一年間の五穀豊饒を祈願して歩く。

(写真 畑野町)

小倉鬼太鼓)

第1回評議員会開催

永年勤続等の表彰式は

各ブロック公連の集会で

本紙単価十円アップを承認

四月二十四日、新潟市平安閣で本年度第一回評議員会が開催され、平成三年度の県公連事業計画、予算案が審議承認された。また、県公民館月報の一部十円の値上げ、優良公民館表彰、永年勤続者表彰は今年度に限り上中下越地区公連の集会時にブロック毎に表彰式を行うことなどの案件が可決承認された。



状況を述べる清水課長

当日の出席者三十名、ほかに委任状提出者四名。まず、木下清一会長の開会のあいさつに続いて、新任の清水明泉生涯学習推進課長の祝辞、関吉彦同課副参事、右近次男下越教育事務所社会教育課長、菊池三男同課副参事の来賓紹介があった。

木下会長は「生涯学習の時代を迎え、公民館はその推進の中核施設として自信を持って活動しよう。今年に関プロ主管の年、集会成功の

ために全公民館関係者の力をお借りしたい」とあいさつ。清水課長は「従来の社会教育課を生涯学習推進課と改めたが、単に名称が変わっただけでなしに、新しい企画を進めていくつもりである。とは言っても社会教育の重要性が薄くなったのではない。ますます重要性は増している。その意味で、公民館は住民

平成3年度 新潟県公民館連合会役員名簿

平成3年5月1日現在

郡市名	役職名	氏名	所属公民館	
下越地区	会長	木下清一	新潟市中央公民館	
	副会長	藤口遠	新潟市中央公民館	
	理事	滝波善	村上中央公民館	
		熊谷工	燕市中央公民館	
	監事	和間喜一郎	五泉市公民館	
		本井部和夫	両津市公民館	
	理事	高橋恵美子	白根市中央公民館	
		鈴木庄太郎	豊栄市中央公民館	
		佐藤昭光	紫雲寺町中央公民館	
	監事	山下英雄	亀田町公民館	
		宮川雅晴	巻町公民館	
		佐藤久恵	津川町公民館	
	中越地区	副会長	星野正平	長岡市中央公民館
		理事	小林廣治	三条市中央公民館
			千原昌利	柏崎市中央公民館
監事		羽上利正	小千谷市公民館	
		田野敏夫	加茂市公民館	
理事		酒井勇二	十日町市公民館	
		山口誠幸	見附市中央公民館	
		加瀬川新二	栃尾市公民館	
監事		森山重一	田上町公民館	
		森山重一	出雲崎町中央公民館	
		森山重一	堀之内町公民館	
上越地区		副会長	田畑耕一	大和町公民館
		理事	寺崎野直昭	津南町公民館
			大佐藤公真	高柳町公民館
		監事	武藤八	上越市立公民館
	武藤八		糸魚川市中央公民館	
	武藤八		糸魚川市中央公民館	
	理事	武藤八	新井代町公民館	
		武藤八	板倉町公民館	
		武藤八	青海町公民館	

に最も密着した社会教育施設であるから、住民の考え方を的確にとらえて、生涯学習推進の役割を果たしてほしい。関プロ集会の成功を祈る。」とあいさつ。議長に佐藤公男氏(東頸松代町公民館長)を選出し議事に入らる。

○平成二年度の会務報告と歳入歳出決算見込報告
○平成三年度の基本方針・重点目標・事業計画ならびに、予算案を審議、原案どおり可決

○第42回県公民館大会における優良公民館表彰・永年勤続者表彰は、今年度に限り(関プロ公研集会のセレモニーに

焦点化するため)上・中・下越公連ごとに開催されるブロック集会の機会に表彰式を実施することになった。

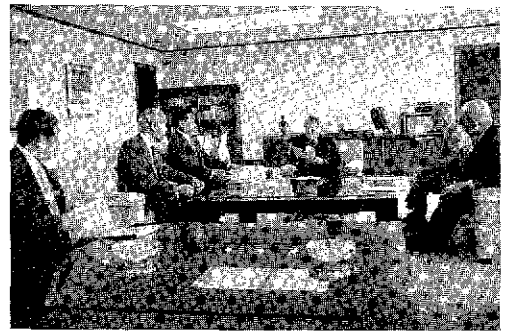
○県公民館月報(本紙)を一部十円の単価アップ(一部一三〇円、年間一五六〇円)を可決した。これは、特別事業分担金の収入が年々急激に減少している上に、諸物価の高騰、消費税の賦課、人件費の上昇等々の迫りうちによって、これまでの自助努力に限界が生じているもので、事情止むなしとして承認可決に至ったものである。(実施は平成四年四月号から)

生涯教育センター 早期設置を陳情

四月十七日、午後二時から、生涯教育センター設置促進委員会ではその代表者によって金子県知事に面接し、県立生涯教育センターを早期に設置されるよう陳情を行った。知事の感懐は、施設機能を重視した陳情の主旨については理解を示されたものの、「教育委員会の考えを十分に聞いて」と、明言はさけていた。このあと、副知事、総務部長、教

育長、県議会議長を訪ね陳情文を手交するとともに、早期設置の実現に向けての甚力を要請した。

なお、当日参加された代表は、県公民館振興市町村長連盟から伊豆野会長(両津市長)、近副会長(新発田市長)、小野副会長(青海町長)、社会教育懇話会から、八幡会長(県社会教育協会会長)、小林委員(県社会教育委員会議長)、木下委員(県公民館連会長)であった。



辛口

現代は男性が握って離さず、「女性の時代」と言われ、あらゆる分野に女性が進出し活躍するようになってきた。発言力・影響力も強くなりまし

た。しかし、それは枝葉の部分のことだけで、根と幹のところは

男性が握って離さず、女性はおく周辺で活かされているにすぎないと言ったら言い過ぎでしょうか。

公民館のことについて考えてみてこの図

審議委員にもつと女性を!!

斎藤 良子

式はあてはまるようです。どこの公民館でも利用者は圧倒的に女性が多いのですが、公民館運営審議会の委員の中に、女性は何人いるでしょうか。紅一点で

「公民館運営審議会では、館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議するものとする。」(社会教育法



私と公民館

古田島 節子

私が長岡市の中央公民館運営委員の任を引受けることになりました。

したのは、15年程前に端を発していると思います。

昭和50年頃、社会教育課の事業の一つとして「ママさん大学」が開かれました。子育ての時間も多くは要らなくなっておりました私は早速申し込みました。「大学」は学習コースに合わせ趣味コースも選択できる様になりました。五つ程のコースがあり私は茶道を選びました。所定の学習期間が終了した後は、同好の友が集い、自主運営で茶の湯の稽古を始めました。

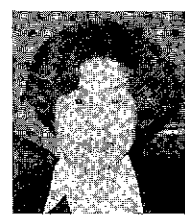
当時、中央公民館には和室が無く、他の施設を利用しておりました。数年後その施設の利用が出来なくなり、公民館の先生のお計らいで中央公民館の板張りの部屋にゴザなどを敷き、水屋も無しの稽古を何年か続けて居りました。そして遂に水屋つき和室が館内に作られ、現在も月に二度抹茶の香を染しんで

地区公民館だより等も送って頂き、住民の知識習得・体力づくりの場として地区館の果たす役割りの大きさを認識しました。と同時に、住民が参加して何かを考える場として最も適している所ともいえます。そこで私は考えるのです。体力づくり教養講座と共に、環境問題・資源問題をも考える学習も取り入れて頂き度いと思っております。

また、住民が消費生活問題を解決する拠点として活用出来れば有難いと考えております。

社会教育を深く知らない私の思考に錯誤が有りましたらどうかお許し下さい。

(長岡市中央公民館運営審議委員)



ひろば

第29条)のが委員の中に、女性の意見がきちんと反映されているでしょうか。絶対多数の男性委員の中で「紅」がかすんでいませんか。ただ人数が同じであればいいのか……などと批判はあるでしょうが、意見を述べる場が男性と全く同様に保証されることはあたりまえのことです。質が問われるのはその次の段階でしょう。「男が決め、女が従う」時代は終わったのです。

(にいがた女性会議 副代表)



講師紹介

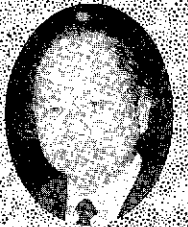
真壁 静 夫氏

山梨県韮崎市前社会教育課長 補佐、社会教育専事でもある。

昭和五十年代初めから生涯教育の重要性を力説し、市町村における推進の実際を「理論と実践」の両面から進めている人。公民館に関しては、分館・類似館の運営に関して一見識を持っており、その片鱗を本紙の講演の中に垣間見ることが出来る。

一、はじめに

韮崎市が生涯学習の推進と取り組んだのは昭和五十四年からでした。なぜそのころから取り



真壁 静夫氏

公民館に学ぶ (1) 推進と公民館

月28日中越地区公連主催のて講義されたものである。得て要旨のみを紹介する。

(文責編集部)

組んだのかと申しますと、およそ次のような三つのことがございます。

①、振り向かない層への手だての必要

社会教育や公民館の事業に關して、大変失礼な言い方ですが三つの層に分けられるように思っています。その一つは、ほうっておいても自らを高めるための学習をしたり、地域づくりに参加する層。二つ目は、声を掛ければ振り向きもし参加もする層。三つ目は、呼べど応えず全く振り向きもしない無関心層です。

これまでの社会教育や公民館は、このうちの二、三の層だけにターゲットを絞ってきたきらいがあります。第三の振り向かない層を巻き込まないで眞の地域づくり活動や人づくりが出来ません。そのため、振り向かない層を巻き込む必要がありました。

②、時代の変化への対応の必要 昭和五十年代は今日と同様激しい変化の時代でした。五年先を予測することの困難な時代でした。

また、わが国は経済大国に成長しましたが、心の成長はそのスピードについていくことが出来ませんでした。その結果、当時あちこちに青少年の非行の問題や、公害の問題など社会の歪

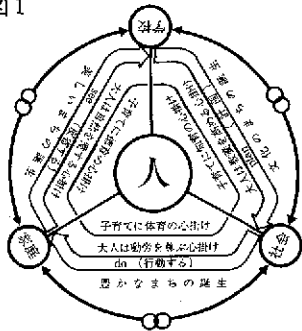
みがたくさん出現しました。そんな中で、時代の変化に対応した自分たちを築いていく必要を感じたからでした。

③、生涯教育の理念からの必要

ポールラングランが提唱することによって始まった生涯教育の理念に共鳴したわけでありま。今こそ、ラングランのいう発想で社会教育や学校教育を進めていかなければ時代の変化についていけないと考えたからであります。

以上の三点が根拠となっております。しかし、私ども現場の人間が生涯学習の重要性や必要性をいくら叫んでみても、大きい組織や機構を簡単に変えるわけには参りません。そこで、せめて自分が担当する公民館の活動の中に、その考え方を折り込んで行きたいと考えたわけであ

図1



ります。いまや、生涯学習という言葉は流行語のように使われるようになりましたが、生涯学習の理念については人様々です。生涯学習イコール社会教育だと堂々と言っている方もおります。また、市町村で社会教育課(係)を生涯学習課(係)と名称だけを変えたものの、やっている仕事も考え方も従来のままのところがありませんでしょうか。生涯学習というのは、私たちの生活の全てであると理解していません。その考え方を次の四つに分けてみます。

- (1) 人間らしさを高めるための学習活動
- (2) 生きるための生涯学習
- (3) 生活設計のための生涯学習
- (4) 地域づくりのための生涯学習

最近行政担当者が「地域づくり」だとか、「ふる里づくり」・「ふる里創生」などといろんな言葉を使っていますが、本当の地域づくりはどういうことなのでしょう。それは、人々の還元活動だと思えます。自分の持っているものを地域のために役立てることです。中央で一生懸命に活動している人が、自分の地域に帰ってどれだけ還元しているかを考えますと、案外エリート意識を持って、自分の満足で終わっていることはあります。これからの社会教育や公民館の活動はそこで終わってしまっていたら、自由化と貿易摩擦の問題、食

管

シリーズ 県外の 蕪崎市の生涯学習の

この講演要旨は、去る2
公民館長職員研修において
講師並びに関係者の了解を

が地域づくりのための生涯学習
であります。

二、心の三・三方式

さて、「生涯学習の理念はよく
分かったよ」という市民に対
して、「それなら、今は生涯学習
の時代なのだから学習をなさ
い」といっても説得力にはな
りません。「あなたが、こうい
う行動をすれば、あなたの住むこ
の街がこんなふうに変わります
よ」という確固たる哲学を
持って訴えないといけないと思
います。また、注意しなければ
ならないのは、市民の総てが教
育を専門の職業としている人た
ちではないということです。そ

〈表1〉蕪崎の生涯学習推進テーマ

水と緑と心のまち蕪崎市

実践目標

- 1 自然を愛し、美しいまちをつくりましょう。
- 1 勤労を尊び、豊かなまちをつくりましょう。
- 1 教養を高め、文化のまちをつくりましょう。

実践項目

- 1 子育ては親の責任と言う自覚に立って具体的実践をしよう。
- 2 親の真剣な生き方を子供たちの前に示そう。
- 3 家庭、学校、社会の連携を密にしよう。
- 4 地域の学習会や会合には進んで参加しよう。
- 5 「物より心」「量より質」の教育を大切にしよう。
- 6 教養としての読書活動を推進しよう。
- 7 1人1芸、1趣味1研究をしよう。
- 8 親自身の学習をすすめよう。
- 9 ふるさとを語れる人になろう。
- 10 仕事の中にアイデアを持ち自身と誇りと意欲をもたせよう。
- 11 家庭内の仕事は、家族全員で分担しよう。
- 12 家族ぐるみで健康づくりやスポーツをすすめよう。
- 13 河川に物をすてず川を汚さないようにしよう。
- 14 ゴミの持ち帰り運動をすすめよう。
- 15 花を愛する心を育て市内を花開かせよう。
- 16 家庭生活の中に自然に親しむ機会や場を作ろう。
- 17 ボランティアの心を持って郷土の発展につくす人になろう。

(昭和56年10月10日)

うした一般の市民のみんなに学
習の必要を説くわけですから、
教育の専門用語を使用すること
はもろろんのこと、理想や理念
を長々と述べたり、教育計画を
知らせても実践にはつながら
ません。そこで、図1に示したよ
うな「心の三・三方式」として
図式化して説明しています。

「心の三・三方式」の狙いは
「素晴らしい地域づくり」にあり
ます。「素晴らしい地域」とはど
ういう地域のことでしょうか。
立派な近代的な設備を誇る館
や、近代的な道路や橋ができる
ことでしょうか。建物が古くと
も道路が狭くとも、一人ひとり
が人間らしい人々によって構成
されておれば素晴らしい地域つ
まり「ふる里」ではないかと思

ます。ですから私たちの目指す
のは突極には「人づくり」であ
るとらえております。図1の
真ん中に「人」がいるのはその
意味です。人をつくる場は家
庭・学校・社会の三つです。そ
して、この教育の場に、いわゆ
る教育の三原則といわれる知
育、徳育、体育が「心がけ」と
して等分に働くことが大切だと
主張しています。等分に働かな
いと、例えば、知育のみに力を
入れると「学歴社会」の歪みな
どの問題が生ずることになりま
す。以下図1に記してあるよう
な心掛けが大事としています。

この心の三・三方式に基づい
て市民としての必要課題を次の
表1に示したとおり「実践十七
項目」を生生涯学習推進の運動と
してのテーマとしてしています。こ
れが、日本一簡単で日本一短く、
日本一分かりやすい、生涯学習
計画であろうと思ひます。

三、生涯学習推進の特色

蕪崎市では、生涯学習の推進
に特別の組織を作らないことを
原則としてきました。というの
は、推進本部ができ、団体の代
表が委員に委嘱されても、その
組織が本場に機能するかどうか
は別の問題です。その弊害につ
いては現場の職員がいちばんよ
く分かっているからです。

例えば、○○委員という肩書
のたくさん付いた委員が義理
で出席しても本場の審議はでき
ないと思うのです。それよりは
既存の組織を生かすことが大事
だと考えています。

既存の組織の委員さんたちか
ら、生涯学習の必要性を認識し
ていただき、その団体などのや
れるところから推進して戴くこ
とが実質的な推進の手立てであ
ります。それを推進するにあた
り、どこが中心になる必要があ
るとなれば、それはまさに社会
教育法第二十二条に規定されて
いる公民館があることを強調し
ます。

公民館には、常勤であれ非常
勤であれ公民館長は必ずおりま
す。主事さんもいます。とは言っ

ても職員の体制が必ずしも十分
ではないようですが、その場合
は公運審の委員さんがおりま
す。あらゆる組織の代表者に
よって構成されている公運審委
員さんを公民館の推進力になっ
ていただくことが肝要です。公
運審委員の役割は、館長から提
起されたテーマについて審議す
るものではありますが、それが
決められた時には、今度は公民
館実行委員になつてもらうので
す。大きな事業には、一役を買っ
て頂くことを役割の中に加えさ
せて戴くように拡大解釈してい
ます。

蕪崎市の公民館の体制は、中
央公民館の他に、地区館が旧村
単位に(十一館)置かれ、その
下に、九十三の集落単位の自治
公民館を分館として位置づけ
ております。(職員は殆ど民間人
です)

四、公民館の役割

①生涯学習の角度からとらえま
すと、「学びかたを学ぶ」という
役割です。何故学ぶ必要がある
のか、どういう学び方があるの
か、学んだ結果をどう生かすの
が価値ある生き方なのか、理想
的な生き方とは……”というふ
うに、地域の住民の意識を改革
するところとらえています。
②したがって、公民館でもカル

チャーセンターに遠い地域の人々のためには、公民館ができる範囲でカルチャーセンター的な学習の機会も提供していただきます。

③もう一つは貸し館として、自由なグループ活動を自分たちの活動として活用していくことであります。

これらの中で最も大きなものが学び方を学ぶことだと思えます。学び方が分かれば、公民館へ来なくとも、自分の家で学ぶとか、東京でも学ぶことができま。そこで学んだ結果を、また地域に持ち帰り還元するというのが望ましい学習活動ではないでしょうか。

そんな考え方で、市では中央公民館は趣味の講座は一切やめてしまいました。地域づくりの活動は集落単位の公民館に持っていきました。分館長・分館主事・分館運営委員によって活動していただく。そして、自分たちの分館では無理なものがあつた場合地区館へ連絡し、地区館ではそれを判断して可能であれば地区館の事業にする。また、地区館でも同様に自分たちの館で無理なものには中央館で実施することになります。これらの三つの公民館の機能的な役割分担が大事であります。

次に大事なことは、生涯学習

を推進するにあたってどこが中心になるかということであり、それは二つの流れがあります。一つは行政主導であり、もう一つは住民主導であります。市では、住民主導の立場をとっております。首長が先頭に立つことは、ムードを盛り上げるにも、行政効率を高めるにも結構なことでは有りませんが、何時の日か首長が交代した時に、スムーズにバトンタッチする保障はありません。また、生涯の学習は自分たちのものから行政依存の体質では多くを望めない点も考えさせられるからであります。

それなら、教育委員会は何をするのかと申しますと、住民の意識改革をするのが仕事ではないだろうかと考えます。いま、どうい時代なのか、なぜ学ぶ必要があるのか、などと学ぶ方法や還元の仕方などを訴える仕事だと思えます。

五、公民館に期待すること

生涯学習の推進組織がなくとも、公民館がその推進母体として期待できます。市では十二年にわたる生涯学習推進の経緯を申しませう。

(1) 集める生涯学習から集まる生涯学習に

まず、始めのころは、中央公

民館で「生涯学習推進の集い」を実施してまいりました。そこに集まる人は七百人くらいで会場一杯になります。しかし、何年もやっておりますと、集まる人の顔ぶれは同じようになってきました。そこで六年前から、中央公民館はリーダー研修の場にして、「推進の集い」は地区公民館で実施するようになりました。地区では二百人から四百人集まりますから、その十一公民館分ですから二千数百人以上が集まったことになりました。これらの人総てがどれだけ理解したかどうかは別にして、「きつかけを作った」という意味では意義があります。

更に、三年前から九十三集落(三十戸から三百戸の集落)で「生涯学習を語る会」を開いて欲しいという要望があり、それに心えて開催しています。最初は計画書がなかなか出てこなかったり、(出てきてもお見せ出来ないようなものもありました)今では全集落から計画書が出てきます。そして、それなりの集会を開いております。ここでは更に集まる人も多くなっています。そして、中央公民館の場合には「振り向かなかつた人」もここでは沢山参加しています。振り向かせるためのプログラムを特に工夫していることも

ありますが、集落(分館)が身近なため、自分だけ(日曜日などの)集会日にそばを向いているわけにはいかないこともあります。

(2) 地域を巻き込んだ分館活動の事例

社会教育課で「ふるさと学習の教材づくり」を主題にして、全集落にカセットテープ一本とスライド用のカメラフィルム一本を提供して教材づくりに取り組んでもらいました。制作の日は三年間とし、集落の住民みんなで作ることだけを条件にしました。最初は抵抗もありましたが結果的には全集落の教材ができあがりました。

ある集落では、次のようなプロセスで作成しております。まず、旧村の古いものを知っているのは老人だからとして、古事象を探してくることに關しては老人クラブに任せました。それを整理して記録したり(古文書の読み書きなども)する仕事は集落出身の公務員や教員に、解説のためのナレーションは婦人部に、道祖神や石仏の周辺の草刈りと写真撮影は自衛消防団に任せ、ナレーションのバックグラウンドミュージックには集落の高校生中学生から担当してもらった。これらのどれにも関係しなかつた人々に集まっても

らって、みんな「ふるさと」を唄ってもらった。その指揮者は中学生が担当した。そしてその唄を録音にとってテープの最後にいれました。

文字どおり地域ぐるみの活動でしたから、試写会では涙を流しながら、感動に浸ってスライドに見入っており大盛会でした。出来上がったものは、第三者にとつてはつまらないものかも知れませんが、みんなで作った集落の人々にとっては感動そのものでした。それは集落内のあらゆる層の人々の協力によるものであり、新しい未知なるものへの挑戦の感動でもあったわけですが、いま、集落の人々は後の世に遺そうという動きともにもっといい作品にしたいという気持ちに変わっています。また、活字にして遺したいとして、自分たちが経費を捻出してきて冊子にした集落、教材として学校の生徒に活用してもらった計画を進めた集落、自分たちの集落を知るための「ふるさとめぐり」を計画するなど次から次へと波紋のように広がり、生涯学習のプログラムが展開されております。

以上、お役に立つ話になりましたでしょうか。皆様の一層のご活躍ご発展を期待申しあげます。

以上、お役に立つ話になりましたでしょうか。皆様の一層のご活躍ご発展を期待申しあげます。

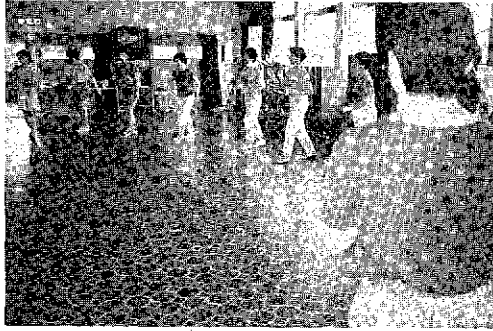
サークル交流

月花美人の会

亀田町「月花会」

明るく楽しく和やかな中年の差のない健康づくりの女性グループとして十年前に発足した会です。

若々しく体を動かし、終生健康でありたいと願いつつも、スポーツになじめない女性グループが、レクダンスを通じて楽しみながら健康づくりに励み、ストレスからの解放、個人的な効用にとどまらず仲間を募り、地域の連帯性を高め、核家族・高



齢化社会に向けての健康づくりを考えています。

通常の活動は、毎週金曜日に二時間、一時間半のレクダンスと三十分の自衛術体操をしています。現在の会員は三十三名。特に自衛術体操は毎日続けるといいということでも年齢差を忘れ若々しく美貌保持に最適。春は近郊の野山へのハイキングや温泉旅行、八月は町民大甚句まつりの民謡流しに参加、冬はクリスマス会、忘年会が行われている会でございます。

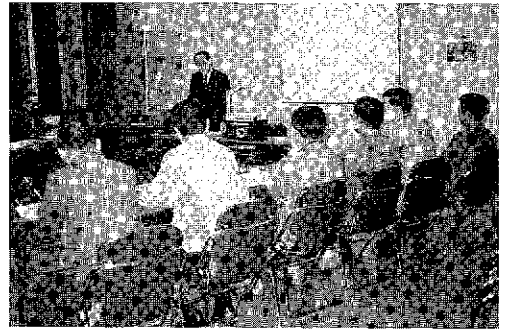
(吉田麗子 記)

男の意地をサークルへ

長岡市「男のサロン」

男子成人講座「男のオフタイム」を受講した動機はさまざまであった。しかし、会社人間以外の時間を自分のため、社会のために、その生き方を学び合いたい要求は強かった。例会「座談会」で盃を傾け合った時、「これからは仲間づくりを大切に、自分達で自主的に学び合いたい。」という声があがってきた。

平均年齢51歳、職場や家庭や



地域で多忙な世代の者が諸事情をやりくりしてサークル活動ができるだろうか一抹の不安があった。男の意地であろう。会員14名、男男しく結成できた。公民館利用登録団体として認められ、会則を決め、館人をアドバイザーとしての連動もできた。月例会2回とし、幅広い人生のあり方を学び合い、日常生活の充実を図り、相互の親睦を深めることをねらいとした。

第一弾は、アンケート結果により、「ふるさととの歴史と文化」を連続ものとして学ぶことにした。将来的には、男子成人でなければできないイベントを企画したいと夢がふくらんでいる。

(代表 山田浩 記)

栃尾市公民館主任主事

蕪沢洋子さん (41歳)

当市公民館の職員構成は館長以下五名(男四名、女一名)の専任職員と嘱託の社会教育指導員一名の計六名であります。

この紅一点が蕪沢洋子さん。本人は本館と八分館の経理事務担当のほか件数の非常に多い文書事務も担当しております。また公民館の職場上、電話と数



多くの来客の応待等で休息時間がとれない忙しさです。

素顔拜見

山北町公民館主事補

小田裕一郎氏 (25歳)

・ジャズにしても、学校にしても、私生活にしても、スタンダードがもてはやされる時代。

・しかし、冒険心や改革意識による深化がなくては唯の古臭さにしかなりません。

・思えば何時でも、夢やロマンが次の時代の扉を開いてきました。

・失われぬチャレンジ・スピリッツで常に自分を昇華させることが90年代のトレンドなのではないでしょうか。

これは小田さんが、成人式記

しかし、本人はその忙しさを人に感じさせないよう、ゆとりを持った態度で応待し、ことばは細やかに接しております。

公民館は市民の茶の間として人とのあいから始まり各種事業を通じて住民の生活文化の向上を図ることが目的であります。

これが目的に近づけるには、住民が公民館に行きたい・来てよかった・また行きたい...の感じを与えることがたいせつなことですが、市民にその感じを与えている代表的な女性です。

(前栃尾市公民館長 佐藤三男次記 3/31勇退)



念誌「成人」に載せた文章です。今年には二年め、ぜひ

チャレンジ・スピリッツで、一層積極的に仕事をして頂きたいものです。

趣味 ビデオ観賞
特技 ドライブ スキー
配偶者 なし

理想の女性像 私の興味のあ
る事に詳しい女性
タレントなら 山口智子の由

(山北町公民館 佐藤久恵)

地域の絆を文集で

十日町市下条地区公民館 下条地区公民館東下組分館

「東下組のわたし」という文集が編集部に贈られてきた。十日町市下条地区公民館の東下組分館で地区の住民の連帯の絆として作成した文集がそれである。第18集とあるから18年間継続してきた文集であろう。

その18年間の継続のニエルギーについて、東下組分館長の中山富雄氏は巻頭言で次のように述べている。

「(前略)出稼ぎ、過疎、嫁不足といった一朝一夕ではどうにもならない重荷を背負いながら、しかし家族で、あるいは地域で少しづつ分かち合いながら、努めて明るくたくましく生きていく姿が文集から読みとれる。真しに取り組むしたたかさ、そこにはある。このしたたかさこそ、家族を守り地域を守り、そして、原稿がなかなか集まら



た一文が載っていたのも印象的であった。ムラを去った人々には望郷の想いから、ムラで暮らしている人々には、ムラの発展の一里塚として、19集以降へつなげよう。なお、本年度から高齢者大学の運営について、五月一日に設

た一文が載っていたのも印象的であった。ムラを去った人々には望郷の想いから、ムラで暮らしている人々には、ムラの発展の一里塚として、19集以降へつなげよう。なお、本年度から高齢者大学の運営について、五月一日に設

た一文が載っていたのも印象的であった。ムラを去った人々には望郷の想いから、ムラで暮らしている人々には、ムラの発展の一里塚として、19集以降へつなげよう。なお、本年度から高齢者大学の運営について、五月一日に設

た一文が載っていたのも印象的であった。ムラを去った人々には望郷の想いから、ムラで暮らしている人々には、ムラの発展の一里塚として、19集以降へつなげよう。なお、本年度から高齢者大学の運営について、五月一日に設

た一文が載っていたのも印象的であった。ムラを去った人々には望郷の想いから、ムラで暮らしている人々には、ムラの発展の一里塚として、19集以降へつなげよう。なお、本年度から高齢者大学の運営について、五月一日に設

た一文が載っていたのも印象的であった。ムラを去った人々には望郷の想いから、ムラで暮らしている人々には、ムラの発展の一里塚として、19集以降へつなげよう。なお、本年度から高齢者大学の運営について、五月一日に設

た一文が載っていたのも印象的であった。ムラを去った人々には望郷の想いから、ムラで暮らしている人々には、ムラの発展の一里塚として、19集以降へつなげよう。なお、本年度から高齢者大学の運営について、五月一日に設

た一文が載っていたのも印象的であった。ムラを去った人々には望郷の想いから、ムラで暮らしている人々には、ムラの発展の一里塚として、19集以降へつなげよう。なお、本年度から高齢者大学の運営について、五月一日に設

た一文が載っていたのも印象的であった。ムラを去った人々には望郷の想いから、ムラで暮らしている人々には、ムラの発展の一里塚として、19集以降へつなげよう。なお、本年度から高齢者大学の運営について、五月一日に設

た一文が載っていたのも印象的であった。ムラを去った人々には望郷の想いから、ムラで暮らしている人々には、ムラの発展の一里塚として、19集以降へつなげよう。なお、本年度から高齢者大学の運営について、五月一日に設

た一文が載っていたのも印象的であった。ムラを去った人々には望郷の想いから、ムラで暮らしている人々には、ムラの発展の一里塚として、19集以降へつなげよう。なお、本年度から高齢者大学の運営について、五月一日に設

た一文が載っていたのも印象的であった。ムラを去った人々には望郷の想いから、ムラで暮らしている人々には、ムラの発展の一里塚として、19集以降へつなげよう。なお、本年度から高齢者大学の運営について、五月一日に設

た一文が載っていたのも印象的であった。ムラを去った人々には望郷の想いから、ムラで暮らしている人々には、ムラの発展の一里塚として、19集以降へつなげよう。なお、本年度から高齢者大学の運営について、五月一日に設

た一文が載っていたのも印象的であった。ムラを去った人々には望郷の想いから、ムラで暮らしている人々には、ムラの発展の一里塚として、19集以降へつなげよう。なお、本年度から高齢者大学の運営について、五月一日に設

た一文が載っていたのも印象的であった。ムラを去った人々には望郷の想いから、ムラで暮らしている人々には、ムラの発展の一里塚として、19集以降へつなげよう。なお、本年度から高齢者大学の運営について、五月一日に設

た一文が載っていたのも印象的であった。ムラを去った人々には望郷の想いから、ムラで暮らしている人々には、ムラの発展の一里塚として、19集以降へつなげよう。なお、本年度から高齢者大学の運営について、五月一日に設

た一文が載っていたのも印象的であった。ムラを去った人々には望郷の想いから、ムラで暮らしている人々には、ムラの発展の一里塚として、19集以降へつなげよう。なお、本年度から高齢者大学の運営について、五月一日に設

た一文が載っていたのも印象的であった。ムラを去った人々には望郷の想いから、ムラで暮らしている人々には、ムラの発展の一里塚として、19集以降へつなげよう。なお、本年度から高齢者大学の運営について、五月一日に設

た一文が載っていたのも印象的であった。ムラを去った人々には望郷の想いから、ムラで暮らしている人々には、ムラの発展の一里塚として、19集以降へつなげよう。なお、本年度から高齢者大学の運営について、五月一日に設

た一文が載っていたのも印象的であった。ムラを去った人々には望郷の想いから、ムラで暮らしている人々には、ムラの発展の一里塚として、19集以降へつなげよう。なお、本年度から高齢者大学の運営について、五月一日に設

まちからまちへ

市町村の隠れた名所紹介のコーナーです。

町一丁目にあります。視聴者ロビーで「ニュースの出来るまで」のビデオを見たあと、TV第一スタジオ、番組づくりの中核である運行室を見学できます。(電話二二〇一六一、太田さん)

町一丁目にあります。視聴者ロビーで「ニュースの出来るまで」のビデオを見たあと、TV第一スタジオ、番組づくりの中核である運行室を見学できます。(電話二二〇一六一、太田さん)

町一丁目にあります。視聴者ロビーで「ニュースの出来るまで」のビデオを見たあと、TV第一スタジオ、番組づくりの中核である運行室を見学できます。(電話二二〇一六一、太田さん)

町一丁目にあります。視聴者ロビーで「ニュースの出来るまで」のビデオを見たあと、TV第一スタジオ、番組づくりの中核である運行室を見学できます。(電話二二〇一六一、太田さん)

町一丁目にあります。視聴者ロビーで「ニュースの出来るまで」のビデオを見たあと、TV第一スタジオ、番組づくりの中核である運行室を見学できます。(電話二二〇一六一、太田さん)

町一丁目にあります。視聴者ロビーで「ニュースの出来るまで」のビデオを見たあと、TV第一スタジオ、番組づくりの中核である運行室を見学できます。(電話二二〇一六一、太田さん)

町一丁目にあります。視聴者ロビーで「ニュースの出来るまで」のビデオを見たあと、TV第一スタジオ、番組づくりの中核である運行室を見学できます。(電話二二〇一六一、太田さん)

町一丁目にあります。視聴者ロビーで「ニュースの出来るまで」のビデオを見たあと、TV第一スタジオ、番組づくりの中核である運行室を見学できます。(電話二二〇一六一、太田さん)

町一丁目にあります。視聴者ロビーで「ニュースの出来るまで」のビデオを見たあと、TV第一スタジオ、番組づくりの中核である運行室を見学できます。(電話二二〇一六一、太田さん)

町一丁目にあります。視聴者ロビーで「ニュースの出来るまで」のビデオを見たあと、TV第一スタジオ、番組づくりの中核である運行室を見学できます。(電話二二〇一六一、太田さん)

町一丁目にあります。視聴者ロビーで「ニュースの出来るまで」のビデオを見たあと、TV第一スタジオ、番組づくりの中核である運行室を見学できます。(電話二二〇一六一、太田さん)

町一丁目にあります。視聴者ロビーで「ニュースの出来るまで」のビデオを見たあと、TV第一スタジオ、番組づくりの中核である運行室を見学できます。(電話二二〇一六一、太田さん)

町一丁目にあります。視聴者ロビーで「ニュースの出来るまで」のビデオを見たあと、TV第一スタジオ、番組づくりの中核である運行室を見学できます。(電話二二〇一六一、太田さん)

町一丁目にあります。視聴者ロビーで「ニュースの出来るまで」のビデオを見たあと、TV第一スタジオ、番組づくりの中核である運行室を見学できます。(電話二二〇一六一、太田さん)

町一丁目にあります。視聴者ロビーで「ニュースの出来るまで」のビデオを見たあと、TV第一スタジオ、番組づくりの中核である運行室を見学できます。(電話二二〇一六一、太田さん)

学生募集中

県民生部では、平成三年度の高齢者大学の学生を次の要項により募集中である。

県内に住居する者で、地域の社会活動勤務等に意欲と情熱のあるおむね60歳以上の者。

県内に住居する者で、地域の社会活動勤務等に意欲と情熱のあるおむね60歳以上の者。

県内に住居する者で、地域の社会活動勤務等に意欲と情熱のあるおむね60歳以上の者。

県内に住居する者で、地域の社会活動勤務等に意欲と情熱のあるおむね60歳以上の者。

県内に住居する者で、地域の社会活動勤務等に意欲と情熱のあるおむね60歳以上の者。

県内に住居する者で、地域の社会活動勤務等に意欲と情熱のあるおむね60歳以上の者。

県内に住居する者で、地域の社会活動勤務等に意欲と情熱のあるおむね60歳以上の者。

県内に住居する者で、地域の社会活動勤務等に意欲と情熱のあるおむね60歳以上の者。

講座の種類等		新潟	長岡	上越	佐和田	計
1. 講座の種類	地域活動コース(地域活動指導員養成講座)年7日間、2年間	50	30	50	30	180
	福祉活動コース(福祉活動実践者養成講座)年6日間、1年間	50	50	50	30	180
2. 募集定員	計	100	100	100	60	360

- 会場
新潟会場 新潟市厚生年金会館
長岡会場 中越婦人会館
上越会場 高陽荘
佐和田会場 新潟交通佐和田ビル
- 学習期間等
(1) 学習期間は7月から10月までの4か月までの4か月間を実施する。
(2) 授業はおおむね2週間に1回で午後1時から4時までの1日3時間とする。

発行所 新潟県公民館連合会
 【新潟市川端町2-9・県林業会館内】
 【電話・新潟(025)224-6073】

発行人 会長 木下清一
 編集人 事務局長 上村捨二郎
 【定価1部120円 年共・年極1,440円】

◆県教育委員会では、第6次総合教育計画を発表した。それによると、公民館については、その機能の充実・強化のため、情報提供・学習相談機能の充実を図ることや、専任職員数を全国水準まで引き上げるよう指導するとある。その成果を期待する。(上村)